

エルニーニョとラニーニャが高知県の冬の気温に与える影響

1170270 山新田 凌希

(The influence of El Nino and La Nina

Yamanita Ryoki

on winter temperature in Kochi prefecture)

エルニーニョ現象やラニーニャ現象が高知県の冬の気温にどのような影響を及ぼすのかを調べた。熱帯東太平洋の NINO.3 海域（北緯 5 度～南緯 5 度、西経 150 度～90 度）の月平均海面水温の偏差が $+0.5^{\circ}\text{C}$ 以上をエルニーニョ、 -0.5°C 以下をラニーニャとする気象庁の定義を拡張して $+0.5\sim+1.0^{\circ}\text{C}$ をエルニーニョ、 $+1.0^{\circ}\text{C}$ 以上を強いエルニーニョ、 $-0.5\sim-1.0^{\circ}\text{C}$ をラニーニャ、 -1.0°C 以下を強いラニーニャ、これら以外を平常月（平年）として、高知県の中央部（高知市）と東（室戸岬）と西（宿毛）の冬季 12 月、1 月、2 月の月平均気温が 1950 年から 2015 年のエルニーニョ・ラニーニャ年で平年値とどれくらい異なっているかを解析した。その結果、強いエルニーニョ年とラニーニャ年において、月平均気温は平年値と有意に異なり（95%の統計的有意性）、強いエルニーニョ年は、高知市と室戸岬が $+0.8^{\circ}\text{C}$ 、宿毛が $+0.9^{\circ}\text{C}$ となった。ラニーニャ年は高知市と室戸岬が -0.7°C 、宿毛が -0.6°C となった。一方、エルニーニョ年と、強いラニーニャ年はほとんど差がでなかった。以上のことから、高知市、室戸岬、宿毛においては強いエルニーニョ年は暖冬になり、ラニーニャ年には寒冬になるが、エルニーニョと強いラニーニャ年は平年的な冬の気温になることが示された。